

次期重点取組項目について

1. これまでの協議会の方向性

住民アンケート結果（R3.12）を基に「地域の課題分析」を行い、第5回協議会（R4.6開催）において、「協議会の方向性」の決定。

アンケート結果整理

1. ハザードマップ

- Q17: ハザードマップを見たことのある人が年々減少している
- Q22: 居住地域は「浸水しない」との回答が多数見方のわからない人が一定数いる
- ※アンケート調査の対象範囲は、洪水浸水想定区域(L2)及び地先の安全度マップに町字がかかる住民(全ての市でほぼ全域)

2. 住民の避難想定

- Q7: 自宅外避難を想定している人は全体の3割
- Q8: 上記の5割は周辺リスクを認識
- Q9: 上記の5割は避難のタイミングがわからない
- Q10: 上記のうち多くは避難場所を決めている
- Q11: 上記の7割が避難経路を決めていない

3. 地域防災力の向上

- Q25: 防災訓練に参加していない
- Q26: 出前講座への参加、マイ・タイムラインの作成に取り組めていない

4. 防災情報

- Q5、6: テレビ・スマートフォン・インターネット・アプリを重視多数
- Q27: 地域の活動は紙(広報誌)で認識

地域の課題分析

- 洪水浸水想定区域図・ハザードマップの周知継続が必要
- L2氾濫まで踏み込んだ理解が必要
- ハザードマップの見方等について周知が必要

- 避難者の多くは指定された避難場所を想定
- 想定した避難場所(安全に開設できる数、収容人数、避難ルート)の整理が必要
- 住民の防災行動計画が定まっていない

- 避難行動を具体的に考える機会が少ない
- 防災リーダー・早期避難の重要性を共有する必要

- 提供体制の充実
- 各情報ツールの充実

協議会の方向性

- ①L2を想定したリスクの周知継続、
- ②防災教育の充実

- ③安全な避難場所の確保、
- ②防災教育の充実

- ④マイ・タイムライン作成の推進

- ⑤自主防災組織の育成・連携

- ⑥メディア連携の推進・情報ツールの改善広報

2. これまでの重点取組

これまで「協議会の方向性」に基づき設定した「重点取組」について、各機関において取組を実施。

協議会の方向性	野洲川での重点取組	取組機関
① L2を想定したリスクの周知継続	11. 想定最大規模洪水の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの更新（避難経路の追加等）および周知	近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
	24. 避難行動に資する「まるごとまちごとハザードマップ」の整備、計画作成等	草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
② 防災教育の充実	19. 防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み	協議会全体
	20. 水災害に対する防災教育に関する指導計画の作成支援および協議会の関連市における全ての学校への共有	近畿地整、滋賀県、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
	21. 小学生等を中心とした避難経路の安全利用点検	草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
③ 安全な避難場所の確保	11.【再掲】想定最大規模洪水の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの更新（避難経路の追加等）および周知	近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
	15. 緊急輸送道路も活用した避難経路の検討	協議会全体
④ マイ・タイムライン作成の推進	16. 逃げ遅れをなくすため、高齢者及び避難行動要支援者の避難計画の作成	近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
	17. 要配慮者利用施設の避難計画作成や避難訓練等の実施状況の確認	協議会全体
	18. 避難誘導マニュアルの作成	近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
	22. 「わが家の避難カード」の作成	草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
⑤ 自主防災組織の育成・連携	39. 水防団員や消防団員の募集の強化	近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
	40. 自主防災組織の活用、強化（組織の育成や立上げサポート等）	近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
⑥ メディア連携の推進・情報ツールの改善広報	30. 避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線等の普及（無線のデジタル化等）	草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
	31. 避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等	近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市
	32. 防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため水位計やCCTVカメラの情報を提供（配信）	近畿地整、滋賀県
	57. 中小河川における簡易な方法も活用した河川水位等の情報提供	滋賀県
	79. 早期に氾濫が発生する地域等における洪水時の避難指示等の発令判断に活用するため簡易水位計・量水標を設置し情報共有	近畿地整、滋賀県
	80. 水防団等の水防活動を支援するためCCTVカメラを設置し情報共有（配置計画の検討・見直し）	近畿地整、滋賀県
前回協議会で重点取組から外した項目		

※第9回協議会（R7.5開催）資料の抜粋

3. 水害リスクに関する住民意識の変化 (R3, R6, R7アンケート結果)

- 想定最大規模降雨の浸水想定区域内の住民を対象として、webアンケートを実施。
- アンケート結果 (R3, R6, R7) から、水害に対する関心・認知度が低下傾向となっている。

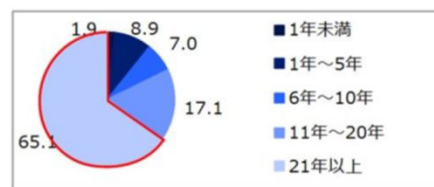
アンケート共通事項

SC1 アンケート回収数

全体	800
大津市	100
近江八幡市	100
草津市	100
守山市	100
栗東市	100
甲賀市	100
野洲市	100
湖南市	100

SC2 現座お住いの市町への居住年数

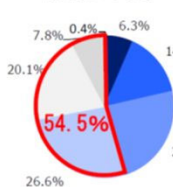
	n	%
全体	800	100.0
1年未満	15	1.9
1年～5年	71	8.9
6年～10年	56	7.0
11年～20年	137	17.1
21年以上	521	65.1



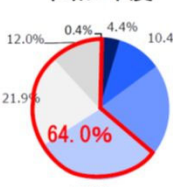
・21年以上お住いの方 (H25豪雨災害を知っている方) が全体の約2/3

SC3 年齢

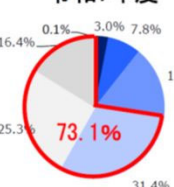
令和4年度



令和6年度

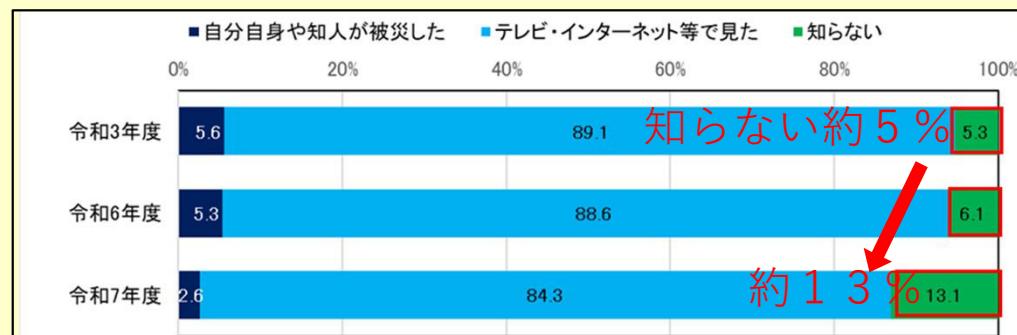


令和7年度



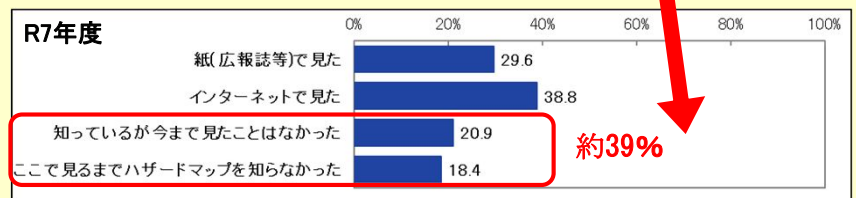
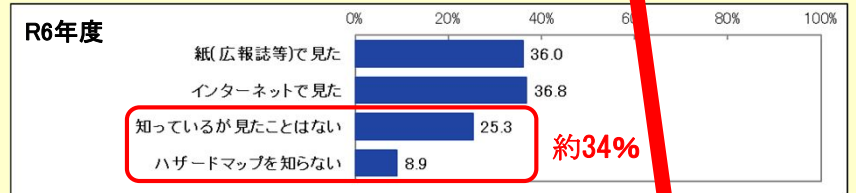
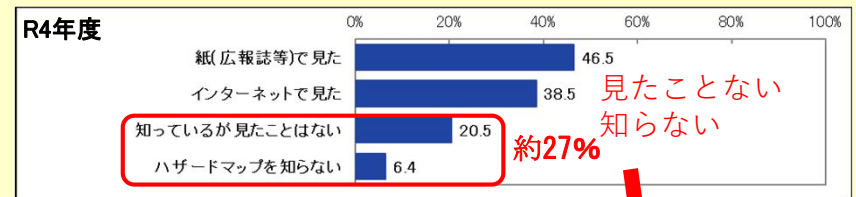
・高齢化が進んでおり、令和7年度調査では50代以上が全体の7割以上

Q 全国各地で近年豪雨により発生した大きな水害を知っているか。



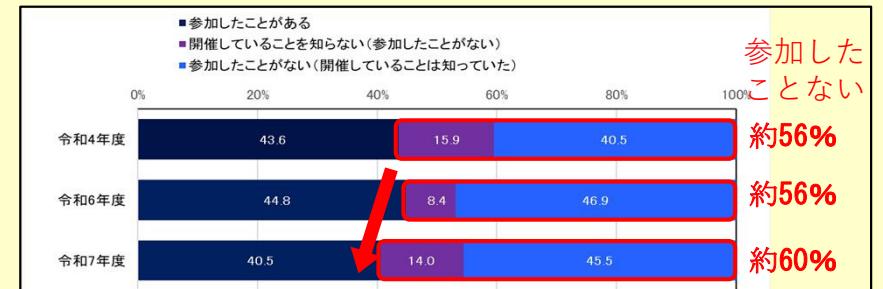
⇒ 水害への関心の低下

Q ハザードマップを見たことがあるか。



⇒ 水害リスクに対する認知度の低下

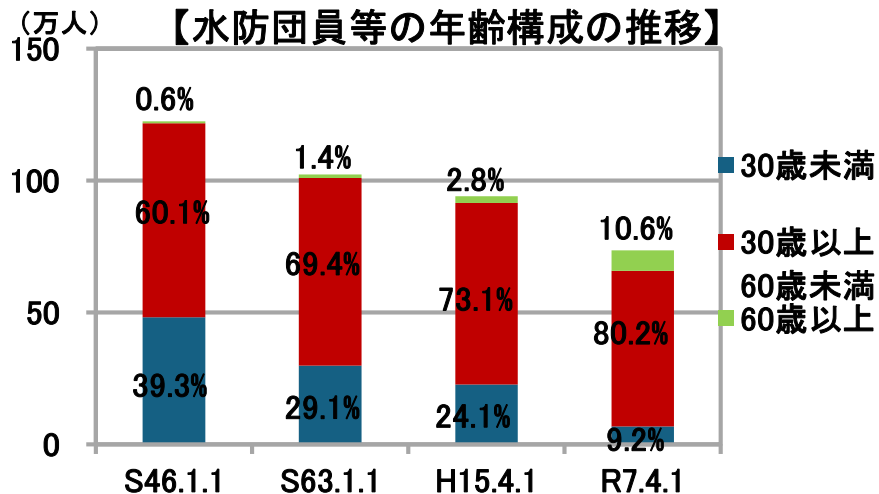
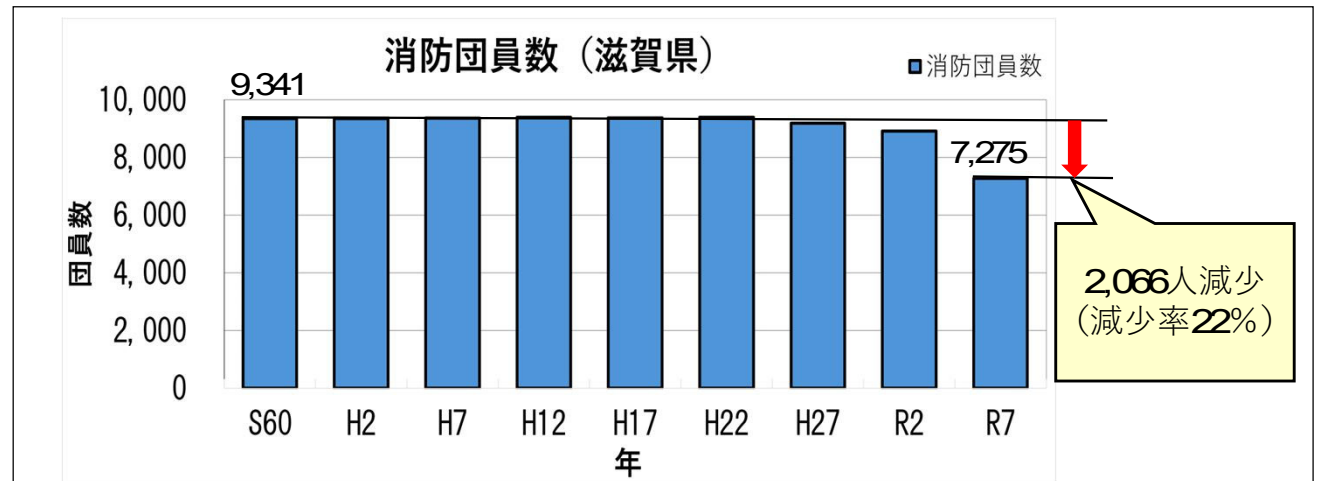
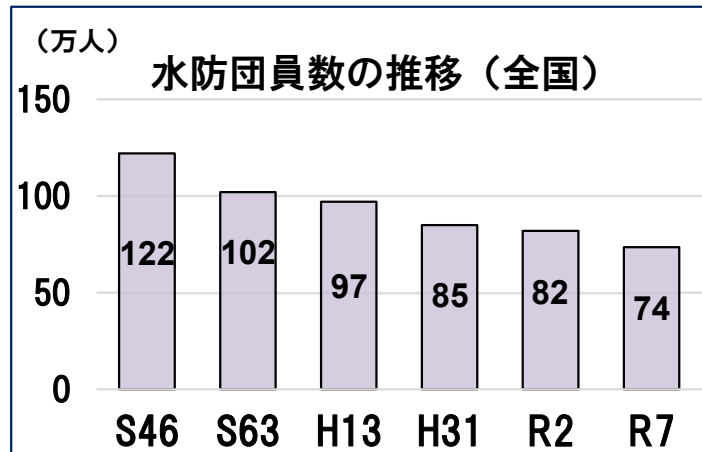
Q 地域の防災訓練に参加したことはあるか



⇒ 防災意識の低下

4. 水防活動の担い手の減少

- 全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、地域の安全を確保するために水防団等が行う水防活動は、重要性を増している。
- 水防活動を行う水防団員等の減少や高齢化が全国的に進んでおり、地域防災力の低下が懸念されている。



水防団・消防団の団員数は、昭和46年当時と比べ約40%減、30歳未満の団員数は約86%減

水防団募集の取組事例



水防活動に参加していただく仲間を募集しています！

- 頻発化する水害から皆さんの地域を守るため、水防活動に参加していただく仲間（水防団員等）を募集しています！
- お住まいの市町村（水防または消防担当）までご連絡ください！

【水防協力団体】として地域に貢献する企業・団体を募集しています！

- 水防団や消防団が行う水防活動をサポートする「水防協力団体」になっていただける企業・団体を募集しています！
- 「水防協力団体」制度は、水防管理者（市町村長など）から指定を受けた上で、水防活動のイメージアップ等の広報や、水防に必要な物資や保管場所のご提供など、企業・団体の得意分野を活かしたサポートをいただくものです。
- 詳しくは、最寄りの市町村（水防、消防担当）又は国土交通省（水管理・国土保全局河川環境課水防企画室 [hqt-suibou2@ki.mlit.go.jp]）までご連絡ください！

水防に関する企業の募集、提供

- ・水防に関する広報、提供
- ・水防に関する物資、提供
- ・水防に関する設備、提供
- ・水防に関する人材、提供

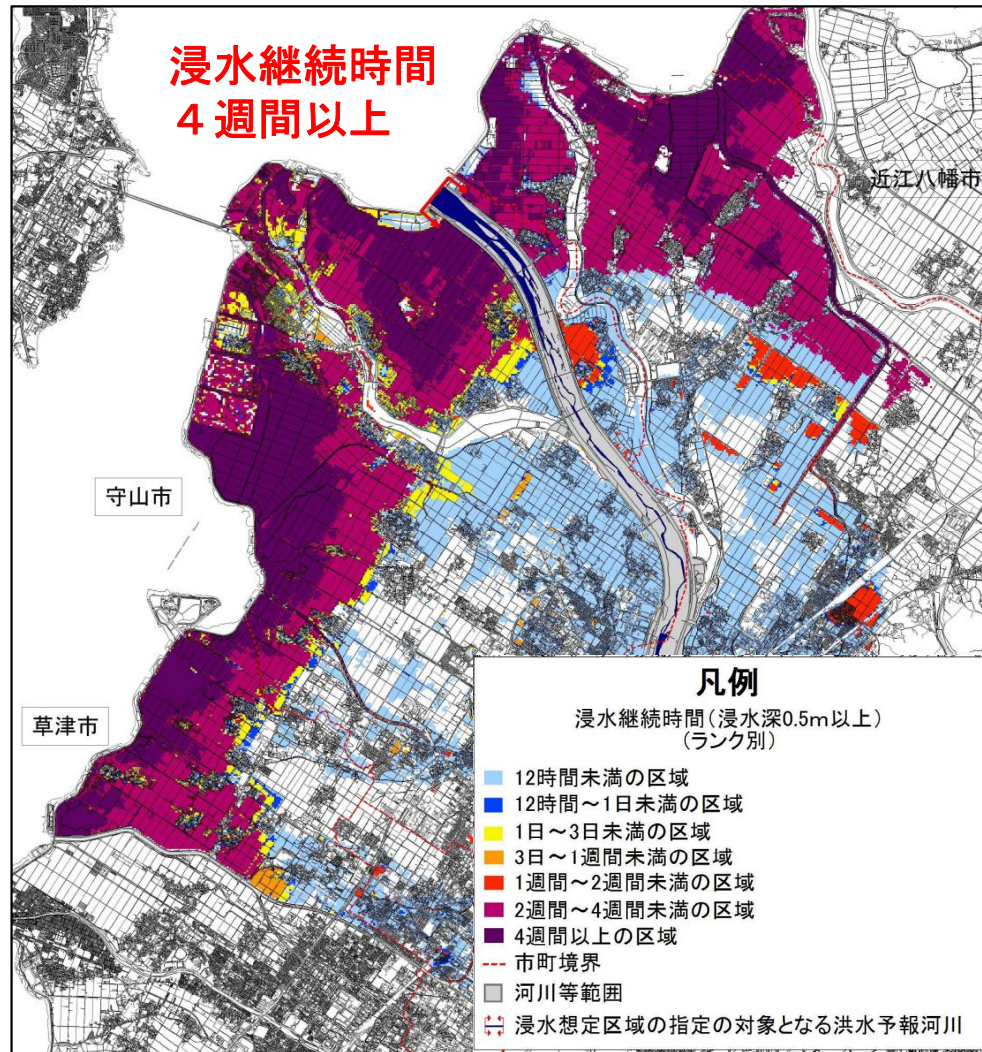
水防活動への協力

- ・水防活動の支援、提供
- ・水防活動の広報、提供
- ・水防活動の物資、提供
- ・水防活動の設備、提供
- ・水防活動の人材、提供

水防資機材の保管、提供

5. 広域的な避難計画に関するこれまでの取組

- 野洲川は、琵琶湖水位の影響を受けるため、琵琶湖の水位が上昇した場合、浸水継続時間が長期に及び、琵琶湖湖岸の浸水継続時間4週間以上の範囲は約13km²（野洲川洪水想定区域の約14%）となることが想定され、社会経済活動の停滞が懸念される。
- これまでの取組の進捗により、広域的な避難計画の検討を進める段階となっている。



野洲川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）

これまでの取組

- ・洪水浸水想定区域、地先の安全度マップ、ハザードマップ等の公表
- ・流域タイムラインの作成
- ・自治会単位のタイムライン、マイ・タイムライン等の作成・支援
- ・水位計や河川カメラの情報提供 など

野洲川流域水防災タイムライン（令和7年度版）【ステージ4】

ステージ4（危険）における対応

トリガー：洪水予報（近畿広域情報）発表
①危険な状況に上り、上流に警戒を促す（琵琶湖水位）
②危険な状況に上り、上流に警戒を促す（琵琶湖水位）
③危険な状況に上り、上流に警戒を促す（琵琶湖水位）

No.	発生段階（危険）	対応主体	対応内容	対応時期	対応状況	対応結果	対応評価	対応改善
47	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
48	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
49	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
50	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
51	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
52	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
53	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
54	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
55	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
56	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
57	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
58	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
59	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
60	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
61	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
62	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
63	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
64	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
65	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
66	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
67	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
68	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
69	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
70	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
71	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
72	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
73	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
74	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
75	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
76	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
77	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
78	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
79	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
80	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
81	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
82	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
83	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
84	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
85	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
86	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
87	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
88	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
89	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
90	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
91	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
92	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
93	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
94	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
95	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
96	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
97	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
98	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
99	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時
100	洪水予報（近畿広域情報）発表	自治会	洪水予報（近畿広域情報）発表	発生時	発生時	発生時	発生時	発生時

凡例 ○：行動の主体 ○：継続して実施 発：情報の発信者 受：情報の受け手 （受）必要に応じて情報取得



今後の取組（案）

広域的な避難計画の検討

6. 重点取組項目（R8～R12）（案）について

これまでの「協議会の方向性」を踏まえて、次期重点取組項目に関して整理。

- 滋賀県域では気候変動による水害の激甚化・頻発化に対応するため、あらゆる関係者の協働による「流域治水」の取組を進めているが、より一層の推進のためにも、水害リスクを自分事化することが重要である。
- 水防団・消防団への減少抑制は、地域防災力の要として不可欠であるが、全国的にみても団員数は年々減少しており、水防活動の担い手確保が重要な課題となっている。
- 上記2点を推進していくためには、SNS活用やメディアと連携した情報発信が必要である。
- 野洲川は、琵琶湖水位の影響を受けるため、琵琶湖の水位が上昇した場合、浸水継続時間が長期に及び、琵琶湖湖岸の浸水継続時間4週間以上の範囲は約13km²（野洲川洪水想定区域の約14%）となることが想定され、社会経済活動の停滞が懸念される。
- 平成27年9月関東・東北豪雨において利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、多数の孤立者が発生したことが挙げられる。この時の課題として、近隣市との協力・連携により、市内の避難にとらわれない広域的な避難を事前に検討しておくことが必要とされた。
- これらの状況を踏まえると、住民の迅速かつ円滑な避難に資するため、広域的な避難計画を作成し、「逃げ遅れゼロ」に向けた取組をより一層推進していく段階である。



【次期重点取組の4つの考え方】

- 水害リスクの自分事化に係る取組
- 水防活動の担い手確保に係る取組
- メディアと連携した情報発信に係る取組
- 広域避難に係る取組

7. 次期重点取組の設定

次期5カ年での取組における重点取組(案)

目標達成に向けた
5本柱

住民アンケートの結果
からの協議会の方向性※

※住民の水害に対する避難行動への意見や
実態から設定した重点的に取り組む課題

1. 逃げ遅れをなくすための避難行動、
長期的な避難のための取組

①L2を想定したリスクの周知
継続

②防災教育の充実

③安全な避難場所の確保

④マイ・タイムライン作成の
推進

2. 確実な避難時間の確保、水害・土砂
災害被害軽減のための水防活動の取組

⑤自主防災組織の育成・連携

⑥メディア連携の推進・
情報ツールの改善広報

3. 生活再建、社会経済活動を一刻も早く
回復させるための復旧活動の取組

4. 危機管理型ハード整備、洪水を安全に
流すハード対策、水防拠点などの基盤
整備、土石流や土砂崩れなどから命を
守るハード対策等の取組

5. 減災・防災に関する取組及び支援

行政が主体的に取り組む内容

メディア等と連携した情報発信に係る取組

水害リスクの自分事化に係る取組

- 6. 想定最大規模の洪水浸水想定区域・内水浸水想定区域、地先の安全度マップの更新、土砂災害警戒区域等の指定等に合わせて、水害・土砂災害ハザードマップや内水ハザードマップ等の更新・周知および活用
- 16. 避難行動に資する表示等（まるごとまちごとハザードマップ、避難所の表示看板等）を設置
- 13. 地域住民や学校等への防災に関する出前講座、防災教育の実施・支援
- 14. 地域住民等と連携した避難経路の安全利用点検・河川周辺の現地調査
- 9. 避難経路検討・支援
- 10. 避難行動要支援者の個別避難計画の作成・作成支援
- 11. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成や避難訓練等の実施の促進支援
- 12. 避難誘導マニュアルの作成・作成支援
- 15. 自治会単位のタイムライン、しがマイ・タイムライン等の作成支援

水防活動の担い手確保に係る取組

- 24. 水防活動の担い手としての消防団員の募集の強化
- 25. 自主防災組織の活用、強化（組織の育成や立上げサポート等）、防災リーダー等の育成
- 26. 水防技術に関する勉強会及び実践的な水防訓練や避難訓練の実施
- 19. 住民の避難行動を促す防災情報の確実な発信および水害リスクの自分事の推進に係る情報発信

広域避難に係る取組

- 8. 広域的な避難計画の作成
- 20. 水位計（危機管理型等の簡易水位計、量水標、ワンコインセンサーも含む）や河川カメラの情報提供
- 31. 浸水想定区域内の災害拠点病院等の施設管理者への洪水時の情報伝達体制・方法検討
- 36. 大規模災害時の早期復旧に資する資機材の広域的な輸送計画の作成と運用調整
- 50. MIZBEステーション、水防拠点等の整備

8. 次期重点取組項目（案）

■次期5カ年取組の重点取組項目（案）としては、以下の18項目を設定する。

取組番号 新	次期5カ年の重点取組項目（案）	担当機関									
		草津市	守山市	栗東市	甲賀市	野洲市	湖南市	近江八幡市	近畿地整	気象台	滋賀県
メディア等と連携した情報発信に係る取組											
水害リスクの自分事化に係る取組											
6	想定最大規模の洪水浸水想定区域・内水浸水想定区域、地先の安全度マップの更新、土砂災害警戒区域等の指定等に合わせ、水害・土砂災害ハザードマップや内水ハザードマップ等の更新・周知および活用	○	○	○	○	○	○				
16	避難行動に資する表示等（まるごとまちごとハザードマップ、避難所の表示看板等）を設置	○	○	○	○	○	○				
13	地域住民や学校等への防災に関する出前講座、防災教育の実施・支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	地域住民等と連携した避難経路の安全利用点検・河川周辺の現地調査	○	○	○	○	○	○				○
9	避難経路検討・支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	避難行動要支援者の個別避難計画の作成・作成支援	○	○	○	○	○	○				○
11	要配慮者利用施設の避難確保計画作成や避難訓練等の実施の促進支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	避難誘導マニュアルの作成・作成支援	○	○	○	○	○	○	○			○
15	自治会単位のタイムライン、しがマイ・タイムライン等の作成支援	○	○	○	○	○	○	○			○
水防活動の担い手確保に係る取組											
24	水防活動の担い手としての消防団員の募集の強化	○	○	○	○	○	○				
25	自主防災組織の活用、強化（組織の育成や立上げサポート等）、防災リーダー等の育成	○	○	○	○	○	○				
26	水防技術に関する勉強会及び実践的な水防訓練や避難訓練の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	住民の避難行動を促す防災情報の確実な発信および水害リスクの自分事の推進に係る情報発信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広域避難に係る取組											
8	広域的な避難計画の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	水位計（危機管理型等の簡易水位計、量水標、ワンコインセンサーも含む）や河川カメラの情報提供	○	○	○	○	○	○	○			○
31	浸水想定区域内の災害拠点病院等の施設管理者への洪水時の情報伝達体制・方法検討	○	○	○	○	○	○				○
36	大規模災害時の早期復旧に資する資機材の広域的な輸送計画の作成と運用調整	○	○	○	○	○	○	○			○
50	MIZBEステーション、水防拠点等の整備					○			○		

野洲川地域安全協議会の取組項目 次期5カ年(R8～R12)(案)

黄色着色は重点取組項目

○:取組機関 :取組担当外

取組番号新	主な取組項目（見直し案）	草津市	守山市	栗東市	甲賀市	野洲市	湖南市	近江八幡市	近畿地整	気象台	滋賀県
①逃げ遅れをなくすための避難行動、長期的な避難のための取組											
■避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等											
1	流域タイムライン・多機関連携タイムラインの検討および検証と改善	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	出水期前に協議会において水災害・土砂災害、県管理治水ダムに関するホットラインの連絡体制等を確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	土砂災害警戒情報発表の判断基準（CL）の継続的見直し										○
■ハザードマップの作成・周知等											
4	県管理河川（野洲川上流、杣川、日野川、琵琶湖、草津川、中小河川等）の想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域や氾濫シミュレーション（浸水ナビ）の周知								○		○
5	「地先の安全度マップ」の更新・公表・周知										○
6	想定最大規模の洪水浸水想定区域・内水浸水想定区域、地先の安全度マップの更新、土砂災害警戒区域等の指定等にに合わせて、水害・土砂災害ハザードマップや内水ハザードマップ等の更新・周知および活用	○	○	○	○	○	○	○			
7	土砂災害防止法に基づく基礎調査の実施および土砂災害警戒区域の更新・周知										○
8	広域的な避難計画の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	避難経路の検討・支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	避難行動要支援者の個別避難計画の作成・作成支援	○	○	○	○	○	○	○			○
11	要配慮者利用施設の避難確保計画作成や避難訓練等の実施の促進支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	避難誘導マニュアルの作成・作成支援	○	○	○	○	○	○	○	○		○
■防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の充実											
13	地域住民や学校等への防災に関する出前講座、防災教育の実施・支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	地域住民等と連携した避難経路の安全利用点検・河川周辺の現地調査	○	○	○	○	○	○	○			○
15	自治会単位のタイムライン、しがマイ・タイムライン等の作成支援	○	○	○	○	○	○	○	○		○
16	街中に避難行動に資する表示等（まるとまちごとハザードマップ、避難所の表示看板等）を設置	○	○	○	○	○	○	○			
17	県内の小中学校を対象とした土砂災害防止に関する絵画作文コンクールの実施										○
18	ダムの操作や緊急放流（異常洪水時防災操作）時に発生する現象に関する住民等への情報提供として、パンフレット・ダムカードの配布および啓発活動の実施										○
■避難行動のための情報発信等											
19	住民の避難行動を促す防災情報の確実な発信および水害リスクの自分事の推進に係る情報発信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	水位計（危機管理型等の簡易水位計、量水標、ワンコインセンサーも含む）や河川カメラの情報提供	○	○	○	○	○	○	○	○		○
21	洪水予報文の適切な運用								○	○	○
22	水害リスクラインに基づく水位予測や洪水予報の実施、および洪水の最高水位やその到達時間の情報提供など、洪水予報の高度化の推進								○	○	○
23	緊急放流（異常洪水時防災操作）移行時の報道機関への情報提供										○
②確実な避難時間の確保、浸水被害軽減のための水防活動の取組											
■水防体制の強化											
24	水防活動の担い手としての消防団員の募集の強化	○	○	○	○	○	○	○			
25	自主防災組織の活用、強化（組織の育成や立上げサポート等）、防災リーダー等の育成	○	○	○	○	○	○	○			
26	水防技術に関する勉強会及び実践的な水防訓練や避難訓練の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	タイムラインを活用する等、連絡体制の強化・確認のための情報伝達訓練の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	毎年、土砂災害を対象とした各市主催の訓練および県・市間の情報伝達訓練を実施	○	○	○	○	○	○	○			○
■水防活動支援のための情報公開、情報共有											
29	重要水防箇所や水防資機材の情報共有及び河川管理者と関係市による共同点検（国及び県管理区間）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
■適切な土地利用の促進											
30	浸水想定区域内の市や災害拠点病院等の重要施設への水害リスク情報の提供								○		○
■市庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進											
31	浸水想定区域内の災害拠点病院等の施設管理者への洪水時の情報伝達体制・方法検討	○	○	○	○	○	○	○			○
32	市庁舎や災害拠点病院等の耐水化や非常用電源確保等の対策の実施状況の共有	○	○	○	○	○	○	○			
■樋門や水門等の無動力化等の推進・確実な施設の運用体制確保											
33	河川管理者が設置している樋門について、無動力化や新たな操作委託先について検討								○		○
■河川水位等に係る情報の提供											
34	中小河川における避難判断の目安の検討										○
③生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための復旧活動の取組											
■排水活動および施設運用に関する取組											
35	大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成・更新								○		
36	大規模災害時の早期復旧に資する資機材の広域的な輸送計画の作成と運用調整	○	○	○	○	○	○	○	○		○
⑤減災・防災に関する取組および支援											
■水防災社会再構築・土砂災害防止対策に係る地方公共団体への財政的支援											
37	野洲川地域安全協議会の運営により市の取組を支援										○
38	水害に強い安全安心なまちづくり推進事業等により安全な住まい方を支援										○
■適切な土地利用の促進											
39	特に水害リスクの高い地区では、水害に強い地域づくり（とどめる対策）の取組を実施				○						○
40	土地利用規制の取組を実施（1/10、50cm市街化編入しないなど）	○	○	○	○	○	○	○			○
■そなえる対策の実施											
41	特にリスクの高い地区では、水害・土砂災害に強い地域づくり（そなえる対策）の取組を実施				○						○
④ハード対策											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
42	野洲市南櫻地区等の堤防強化								○		
43	「滋賀県河川整備5か年プラン（第3期）」（2024年度～2028年度）に基づく県管理河川の改修および堤防強化										○
■土砂災害防止施設の整備											
44	土砂災害防止施設の整備										○
■河川区域等の管理											
45	河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去、堤防機能の確保等、維持管理の実施								○		○
■ダム等の洪水調整機能の向上・確保											
46	長寿命化計画に基づくダム機能の確保										○
47	既存ダム有効活用の検討　◇運用面での治水効果向上										○
48	流域の雨水貯留機能（雨水貯留浸透対策、田んぼダム等）の向上	○	○	○	○	○	○	○			○
■避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等の整備											
49	危機管理型水位計や簡易水位計・量水標、河川カメラの設置・維持管理									○	○
50	MIZBEステーション、水防拠点等の整備					○			○		